

6. 5 きる：アンケート抄-Q. 下着について感じること

facebook「とある民俗学講師の補足メモ」

- ・誰がための下着：異性のため、同性のため、自分のため？→「社会的事実」としての下着
- ・身体のポリティクス：投票という選択／貨幣という選択／慣習行動という選択

[!] 大学生になり一人暮らしが始まって3カ月ほど経ったころ、洗濯のタイミングを間違えて下着を切らしてしまったため下着を着用せずにパジャマを着たが、特別不便ではなく、下着を着用しなければいけない理由って何だろうと思った。

[寒さ] 小学2~4生の頃、長野県の父方の祖父母の家に冬に行った時に着ていたヒートテックタートルネックが暖かさと息苦しくなさを両立していたことです。私が長野に行く時は普通の下着を着ていく事が多かったのですが、現地についてからこのヒートテックタートルネックに着替えるとかかなり暖かくなったことをよく覚えています。スキーの時でも全く息苦しくなかったことも記憶に残っています。

[暑さ] 大学生になってからTシャツをよく着るようになり、汗の跡がつくのを防ぐために、Tシャツの下にUNIQLOのエアリズムを着るようになりました。はじめはメンズで買っていたのですが、中の下着がTシャツの下から見えるのを防ぐため、最近はレディースのを最近使っていて、絶対に下着がチラ見えしないのでとても重宝しています。

[世代差] 私は下着に関してなんら思うことが無かった。物心ついたころから街のユニクロやGUで買った合成繊維ものを着て生活していた。一方で兵庫県淡路市出身の私の祖父は、吉日には今でもふんどしを着るといふ。とくに地域に根付いただんじり祭りなどではふんどしを身に着けることが伝統であると話していた。

[ブリーフ／トランクス／ボクサー] 私が小学3年の頃まで、周りの同級生の男子たちは皆ブリーフを穿いていたのだが、その後少しずつボクサーパンツやトランクスを穿く者が増え、6年生になる頃にはブリーフを穿いている者を「子供っぽい」とからかう動きもあった。私が親から買い与えられる下着も、そのように変化していった。このようなことは全国共通であるように思う。子供心に、なぜこのような遷移が起きるのか不思議に思った。

[ポジション] 受験生の頃、模試を受けていた時に、ポジションが悪くて集中できないことがあった。入試の時にも同じことが起こって集中できなくなったらまずいと思い、母に相談すると、母は「ポジションが悪くならないパンツ」というものを買ってきてくれた。それを履いているとポジションが悪くなることはなかった。入試にもそのパンツを履いていき、集中して試験を受けることができた。私はそれ以来下着において最も重要なのは履き心地だと思っている。

[サニタリー] 今までの下着の着用経験で印象的だったことは、月経のとき、朝起きたら下着に経血が付いていたことだ。お湯ではなく水で洗うほうがよく落ちる、と母に教わって、洗面所で水洗いした。男に生まれてくれればこんなことしなくてよかったのに、と思った。

[初めてのブラ] 普段着用している下着はショッピングモールで購入しています。ブラジャーを着けるようになったのは小6の頃で、そのときから購入している店や使っているブランドは変わっていません。小さい頃は、母親など年上の女性がブラジャーを着けているのを見て、「どうしてあんなに窮屈そうなものを着けているんだろう、自分は着けたくないな」と思っていたのを覚えています。周囲の友達が皆着けるようになってくると、「着けないと恥ずかしい」と思うようになり、今ではブラジャーを着けずに外出することは絶対にあり得ない、という感覚になっています。

【寄せて上げる】 高校一年で初めてワイヤー入り下着をつけた。それまでワイヤーは硬くて嫌悪していたが、サイズをきちんと測ってもらった下着を使うと、圧倒的に動きやすく胸の重量を負担に感じることもなくなり、大変快適で感動した。特に運動する際の痛みがワイヤーによって胸の位置が固定されたことでなくなり、効果の素晴らしさを感じた。以前は下着をつけることに若干の嫌悪があったが、その素晴らしさを実感して以降、下着をつけることに前向きになれた。

【スポブラ】 私はブラジャーの付け心地が嫌いです。ブラジャーを着用していると息苦しいし、締め付けられている感じが深いです。肩こりもします。そのため、普段は地元のしまむらで購入したスポーツ用下着を使用しています。この商品は、ホックで留めるのではなく、ズボンのゴムのように適度な締め付けがあります。また、肩紐の部分が太く、肩こりをしにくいです。母親には「大学生活では、一般的なブラジャーを身に着けるほうがいいのでは」と言われてきました。ですが実際に大学生になった今、全くスポーツ用下着から脱却できていません。だって楽なんだもん。他人に下着を見せる機会がないことも、事態の恒常化に拍車をかけています。

【ブラトップ】 小学何年生だったか、初めてブラトップを着るようになりました。ブラジャーは恥ずかしいと思っていた時期があったような覚えがありますが、シャツと一体型になっているとなぜか抵抗感はありませんでした。今もずっとブラトップを愛用しています。初めてのブラトップは母と一緒にショッピングモールに買いに行った気がします。

【ナイトブラ】 最近ブラの広告でよく「バストケア」という言葉を目にする機会が増えた。その最たるものとして導入されたものが「ナイトブラ」でないかと思う。ナイトブラとはワイヤーが入っていないブラで、脇などに流れた肉を寄せてホールドし、クーパー靭帯が痛まないように動きが最小限になるように、胸全体を覆うようなスポブラの進化系のようなものを睡眠時用のブラとして着用する。サイズアップと、バストのエイジングケアに効果があるとして、20代中盤～40代にかけて浸透している(気がする)。田中みな実の見事な「下乳」がバズってから、胸の形の理想形が明確に限定されてきているように感じる。朝晩で下着を変えるという非効率的な物質的豊かさと、老化を悪しとする流れが最新のトレンドなのであれば、垂れ乳も少なくなるのかと銭湯でおばあさんの乳を眺める日々である。

【勝負下着】 私は、下着と靴下に同じような感情を抱いています。見えないおしゃれには一種まじないのような力があるように思います。誰からも見えずともカラフルで元気の出る色の靴下を履いて、かわいいブラとショーツを身に付けているとなんとなく前向きな気持ちになれます。

【部活等】 下着に関して一番印象的だったのは、バレーボールの試合の際に着用するインナーです。中学を卒業するタイミングで、祖母がプレゼントしてくれました。普通の下着よりも密着性・通気性が高く、汗を吸収したり、筋肉を締め付けることでパフォーマンスを向上させることができます。バレーボールの試合は一日に及ぶこともあるので、このインナー用の下着を着用することで長丁場の試合でも不快感なく、かつ高いパフォーマンスを維持することができます。

【和装】 成人式の振袖を呉服店で着付けをしていただいた。ブラジャーは外した方が良かったと思ったが、つけたままで良いと言われた。胸元がなだらかになるようにサランをする人もいるようだが、私の体型では必要ないとのことだった。なかなか帰省もできないので、当日に初対面しての一発勝負だったが、私の体型に合わせて着崩れしないようにしていただき、プロの技を実感した。

【!】 既製品と自分の体型が合わず、体型がコンプレックスになった。一人一人体型は違うから画一的な既製品と体型が合わないことがあるのは当然で、考えてみればおかしい話だ。